

3.2 NUSTEC システム

MEXT システムのブロック図を Fig. 3-2 に示す。NUSTEC システムは、事故当時に日本で唯一稼働できた原子力災害のために整備されてきた航空機モニタリングシステムである。検出部は、EXPLORANIUM 社 (Canada) であり、システムとして関西電子株式会社の製品を利用している。

検出器は機外に配置し、低線量率用と中線量率用の 2 つの検出器が配置されている。位置データは GPS で計測するとともに、レーザー高度計で対地高度を測定できる。また、CCD カメラが搭載されており、測定場所を撮影することが可能である。システムの電源は機体から供給されているため、電源の心配はないが、搭載できる機体が航空法の修理改造検査に合格していなければならない、機体は専用機 (中日本航空 Bell 412) となる。本システムには、機体の位置情報をリアルタイムに表示できる機能がないため、別のアシスト PC により位置を確認しながらフライトする。

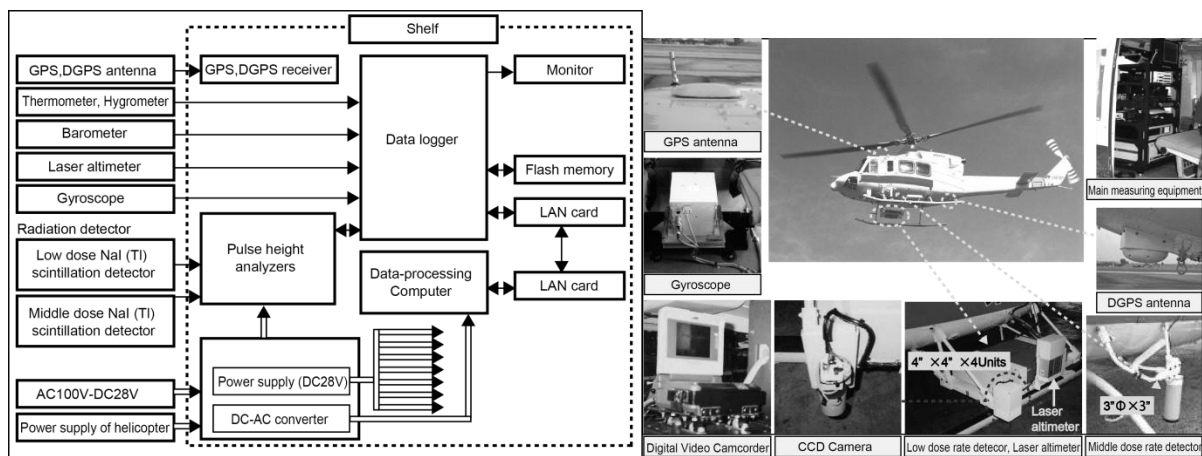


Fig. 3-2 Block diagram of NUSTEC system